

第5章

地域別環境配慮指針

この章では、市域を7つの地域に分割し、地域別に環境の現況と課題、将来のより良い環境づくりのための配慮指針を示します。地域環境マップも記載しました。

1. 北部地域

環境の現況と課題

北部地域は市域の北西部に位置し、国道24号が地域を南北に縦断し、近鉄久津川駅とともに道路交通における京都方面からの玄関口となっています。地域西端には木津川が流れ、その豊かな自然環境の保全と活用が望まれています。

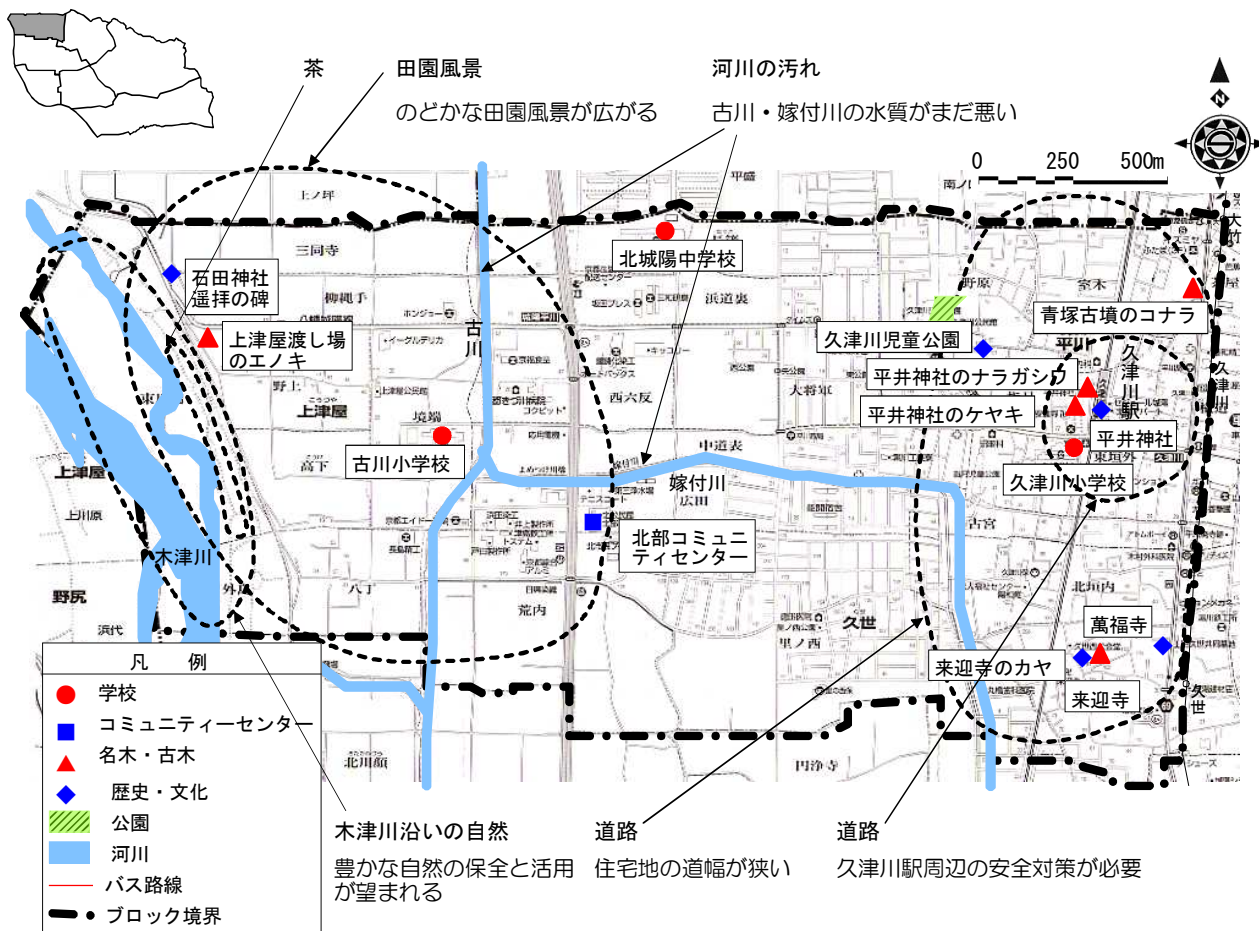
中央部には古川・嫁付川が流れていますが、対策は進められているものの水質は悪く、より一層の改善が望まれています。

また、国道24号の西側には工場が集積し、産業ゾーンを形成しています。

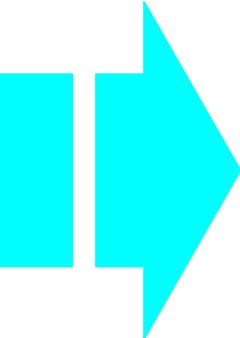
地域東部には近鉄久津川駅を中心とした住宅地が広がっていますが、道幅が狭い上に車の通行量が多く、歩行者にとって危険なところがあります。

この地域では、都市計画マスタープランに基づく土地利用の見直しが進められていることから、それに伴う開発に際しては、環境に十分配慮することが必要です。

地域環境マップ



よりよい環境づくりのための配慮指針

- 
- ・ 身近な河川の水質改善に努めます。
 - ・ 人と自然に配慮した安全で快適な水辺空間の創出に努めます。
 - ・ 木津川の自然環境を保全し、水辺を憩いの場として利用できるよう努めます。
 - ・ 近鉄久津川駅周辺の都市機能と住環境の整備に努めます。
 - ・ ホタルが生息している水路の保全に努めます。
 - ・ 神社・仏閣の緑の保全に努めます。

2. 西部地域

環境の現況と課題

西部地域は市域の中西部に位置し、国道24号と府道69号線が地域を囲むように道路網を形成しており、近鉄寺田、JR城陽の2つの駅があります。

また、城陽市役所や文化パーク城陽などの公共施設があることから、最も人々が集い、交流する、本市の中心的な要素を占める地域です。

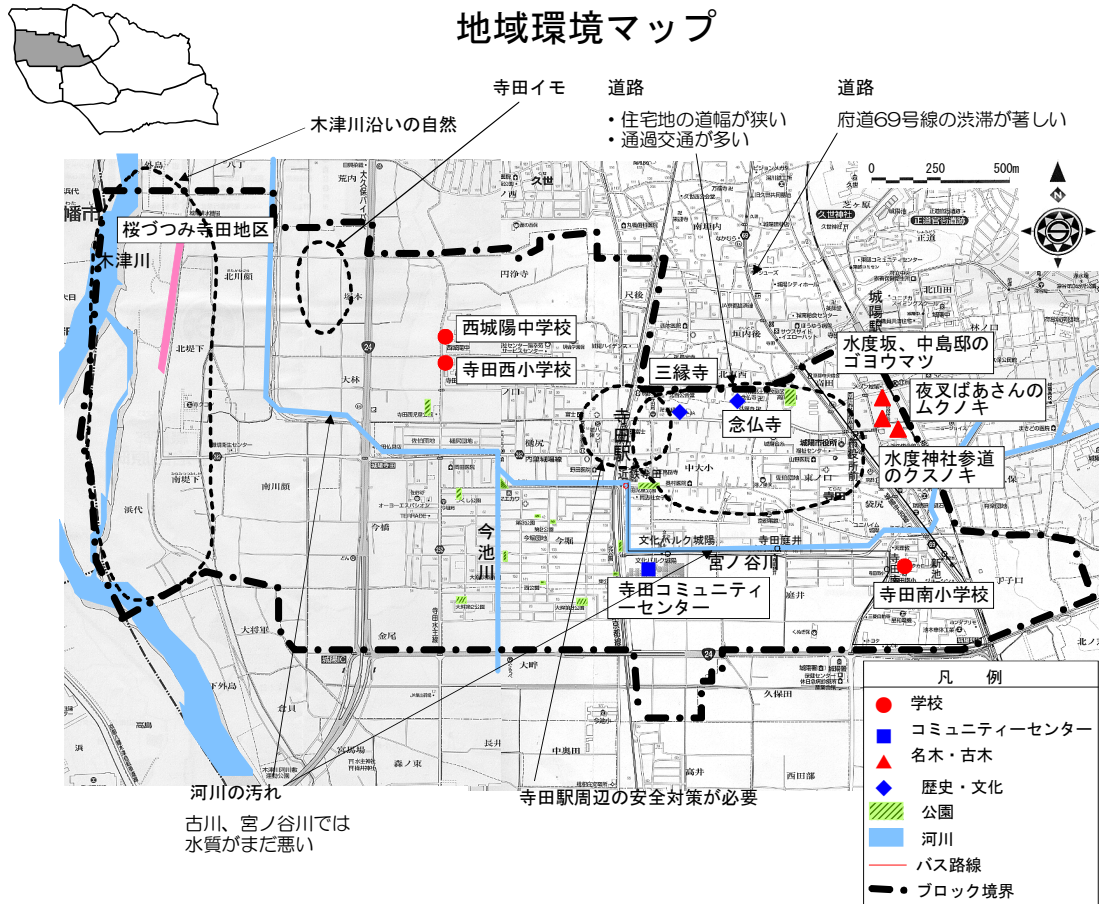
古川・宮ノ谷川が地域内を流れていますが、対策は進めているものの、水質は悪く、より一層の改善が望まれています。

古川の周辺には荒州と呼ばれる砂地の田園が広がっています。

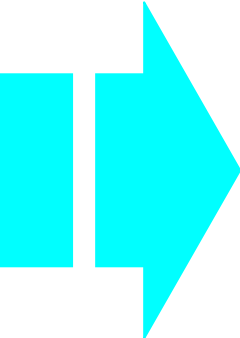
地域の西側には豊かな自然を残した木津川が流れており、桜つつみも整備され、市民の憩いの場となっていますが、歩行者が安全にアプローチできるような整備が望まれます。

近鉄寺田駅周辺では、道幅が狭い上に駅への送迎車が多く、歩行者の安全確保が課題となっています。

この地域では、都市計画マスタープランに基づく土地利用の見直しが進められており、さらには、新名神自動車道の建設が計画されていることから、同自動車道の建設工事やそれらに伴う開発に際しては、環境に十分配慮することが必要です。



よりよい環境づくりのための配慮指針

- 
- ・ 身近な河川の水質の改善に努めます。
 - ・ 人と自然に配慮した安全で快適な水辺の空間の創出に努めます。
 - ・ 荒州の保全と田園風景を生かしたまちづくりに努めます。
 - ・ 近鉄寺田駅周辺の都市機能と住環境の整備に努めます。
 - ・ 木津川の自然環境を保全し、水辺を憩いの場として利用できるよう努めます。
 - ・ 神社・仏閣の緑の保全に努めます。

3. 今池地域

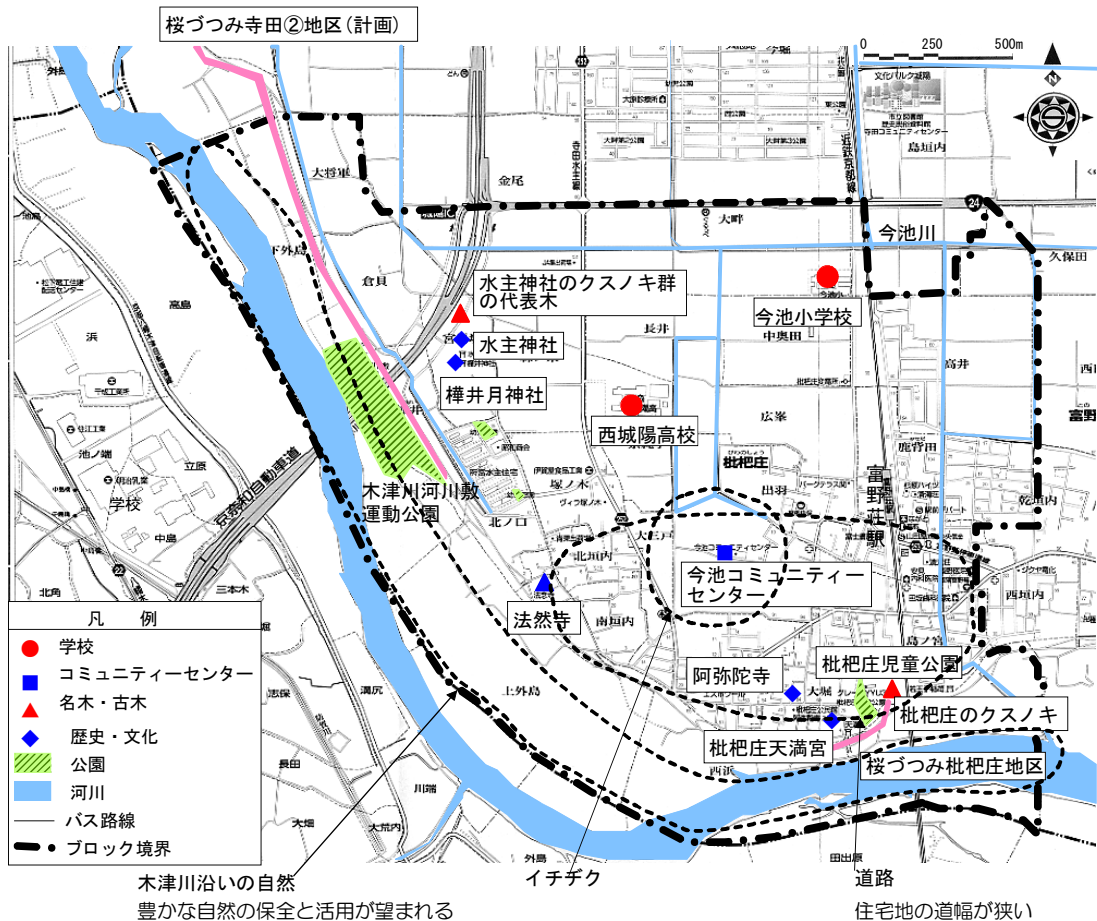
環境の現況と課題

今池地域は市域の南西部に位置しており、北部に国道24号が接し、北西部を京奈和自動車道が縦断しています。地域の西側には木津川が流れ、木津川河川敷運動広場や桜づつみ、枇杷庄児童公園があることなど、木津川とのつながりが最も強い地域といえます。また、今池川は水質が比較的良好な状態で、多種多様な魚や鳥が生息しており、北部の水路にはホタルや田ウナギが見られます。

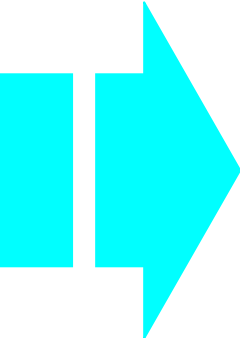
地域の東側には近鉄富野荘駅を中心とした住宅地が広がっていますが、道幅が狭く歩行者にとって危険なところが見られます。

この地域では、都市計画マスタープランに基づく土地利用の見直しが進められており、さらには、新名神自動車道の建設が計画されていることから、同自動車道の建設工事やそれらに伴う開発に際しては、環境に十分配慮することが必要です。

地域環境マップ



よりよい環境づくりのための配慮指針

- 
- ・ 身近な河川の水質改善に努めます。
 - ・ 人と自然に配慮した安全で快適な水辺空間の創出に努めます。
 - ・ 近鉄富野荘駅周辺の都市機能と住環境の整備に努めます。
 - ・ 木津川の自然環境を保全し、水辺を憩いの場として利用できるよう努めます。
 - ・ ホタルや田ウナギが生息している、水路の保全に努めます。
 - ・ 神社・仏閣の緑の保全に努めます。

4. 東部地域

環境の現況と課題

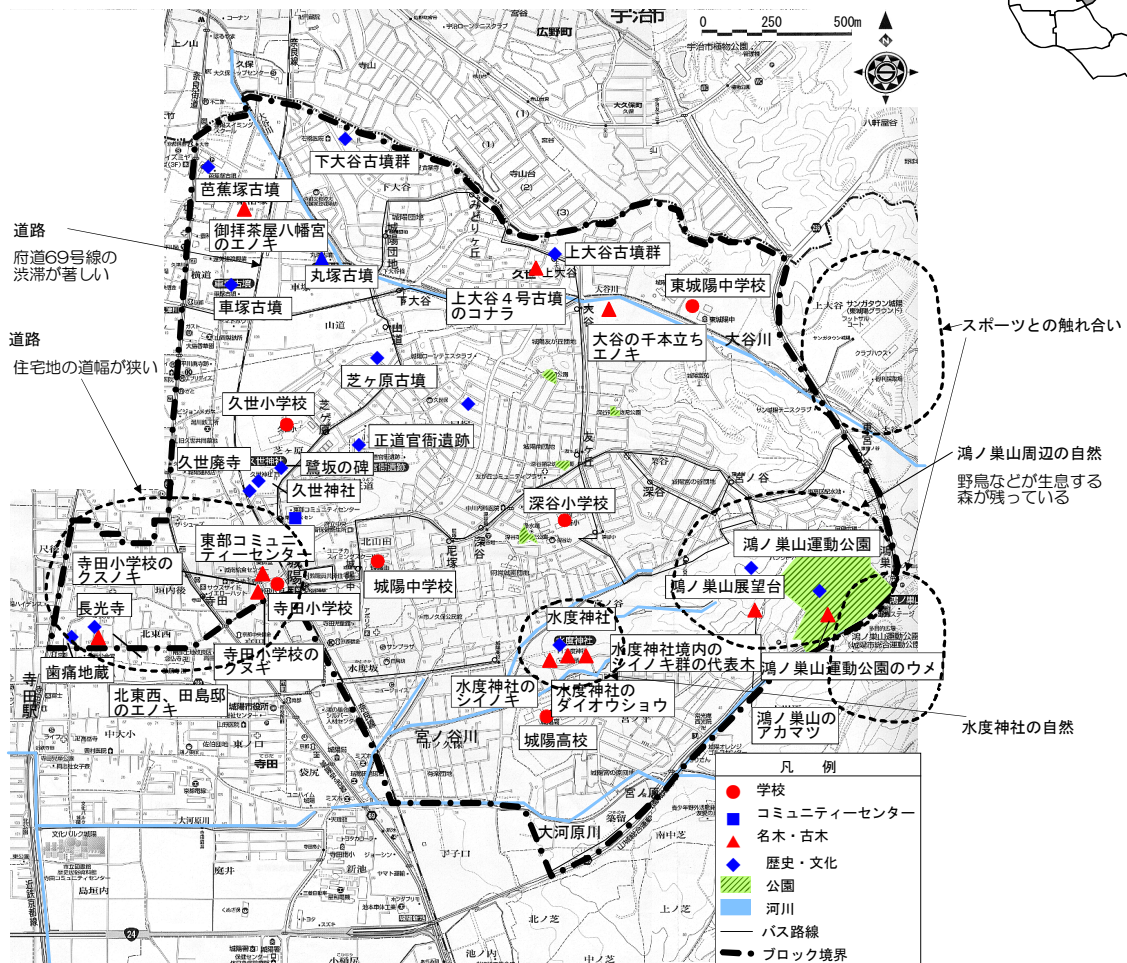
東部地域は市域の北東部に位置し、地域西側を府道69号線及びJR奈良線が南北に縦断し、南東部は府道山城総合運動公園城陽線に接しています。

本地域の東側には鴻ノ巣山があり、地域のみならずまちのシンボリックな存在として位置づけられています。隣接している城陽市総合運動公園や水度参道などと一体的な空間を形成し、これら良好な自然環境・景観の保全と活用が望まれています。

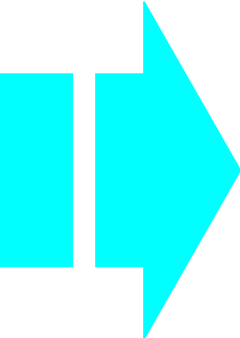
久津川車塚古墳や芝ヶ原古墳、正道官衙遺跡、水度神社、久世神社等の重要な遺跡・文化財が多数点在しており、住環境と歴史遺産が調和した良好な都市環境・景観を形成しています。その一方で、JR 城陽駅周辺の住宅地では、道幅が狭いため、歩行者にとって危険なところがあり、改善が望まれています。

この地域では、都市計画マスタープランに基づく土地利用の見直しが進められていることから、それに伴う開発に際しては、環境に十分配慮することが必要です。

地域環境マップ



よりよい環境づくりのための配慮指針

- 
- ・ 身近な河川の水質改善に努めます。
 - ・ 人と自然に配慮した安全で快適な水辺空間の創出に努めます。
 - ・ JR城陽駅周辺の都市機能と住環境の整備に努めます。
 - ・ 総合運動公園等のスポーツ施設と一体となった自然環境・景観の保全に努めます。
 - ・ ホタルが生息している水路の保全に努めます。
 - ・ 神社・仏閣の緑の保全に努めます。
 - ・ 鴻ノ巣山、水度参道の緑の保全に努めます。
 - ・ 古墳などの歴史遺産の保全と活用に努めます。

5. 南部地域

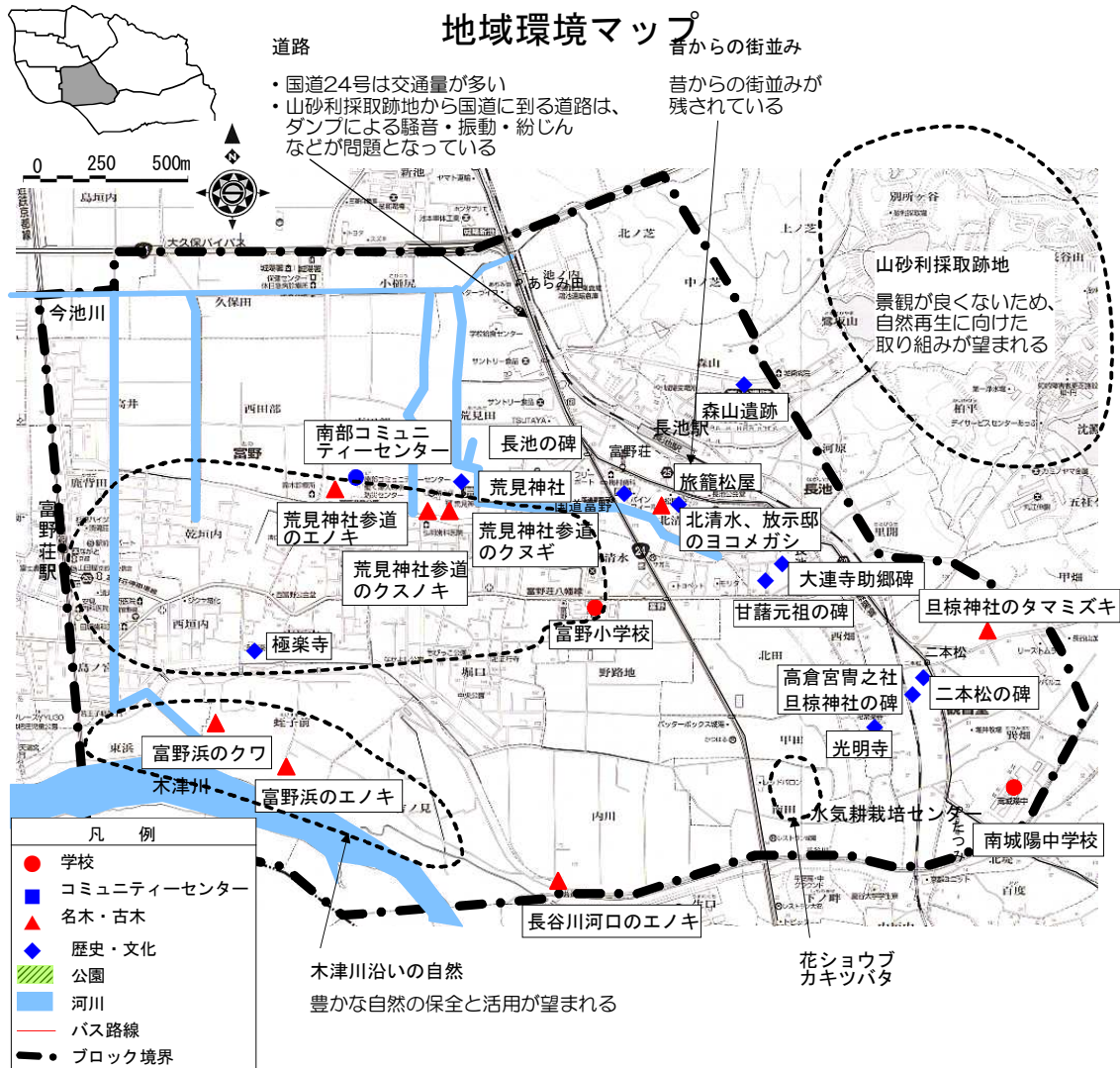
環境の現況と課題

南部地域は市域の中南部に位置し、JR 奈良線及び国道 24 号が南北に縦断しています。森山遺跡や荒見神社といった歴史的にも貴重な緑地が存在しているほか、地域南部に広がる農地や、木津川が流れており、これらの豊かな自然環境の保全が望まれています。

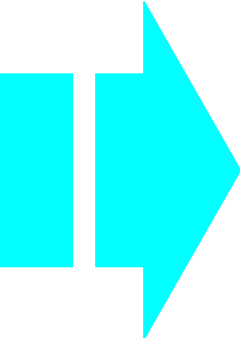
また、JR 長池駅の周辺には宿場町として栄えた街並みが残されています。

市街地の道路は道幅が狭く、歩行者にとって危険なところが見られます。そのほか山砂利採取地から国道 24 号に至る道路では、ダンプによる騒音・振動・粉じんなどが問題となっています。

この地域では、都市計画マスタープランに基づく土地利用の見直しが進められており、さらには、新名神自動車道の建設が計画されていることから、同自動車道の建設工事や、それらに伴う開発に際しては、環境に十分配慮することが必要です。



よりよい環境づくりのための配慮指針

- 
- ・ 身近な河川の水質改善に努めます。
 - ・ 人と自然に配慮した安全で快適な水辺空間の創出に努めます。
 - ・ JR長池駅周辺の都市機能と住環境の整備に努めます。
 - ・ 木津川の自然環境を保全し、水辺を憩いの場として利用できるよう努めます。
 - ・ 田園風景を生かしたまちづくりに努めます。
 - ・ 観音堂の「花の小径」の整備と保全に努めます。
 - ・ 神社・仏閣の緑の保全に努めます。
 - ・ 宿場町としての歴史的景観の保全に努めます。
 - ・ 山砂利採取跡地の修復・整備に努めます。

6. 青谷地域

環境の現況と課題

青谷地域は市域の東南部に位置しており、国道 24 号、国道 307 号が縦横断し JR 山城青谷駅が立地していることなど南部におけるまちの玄関口として位置づけられる地域です。

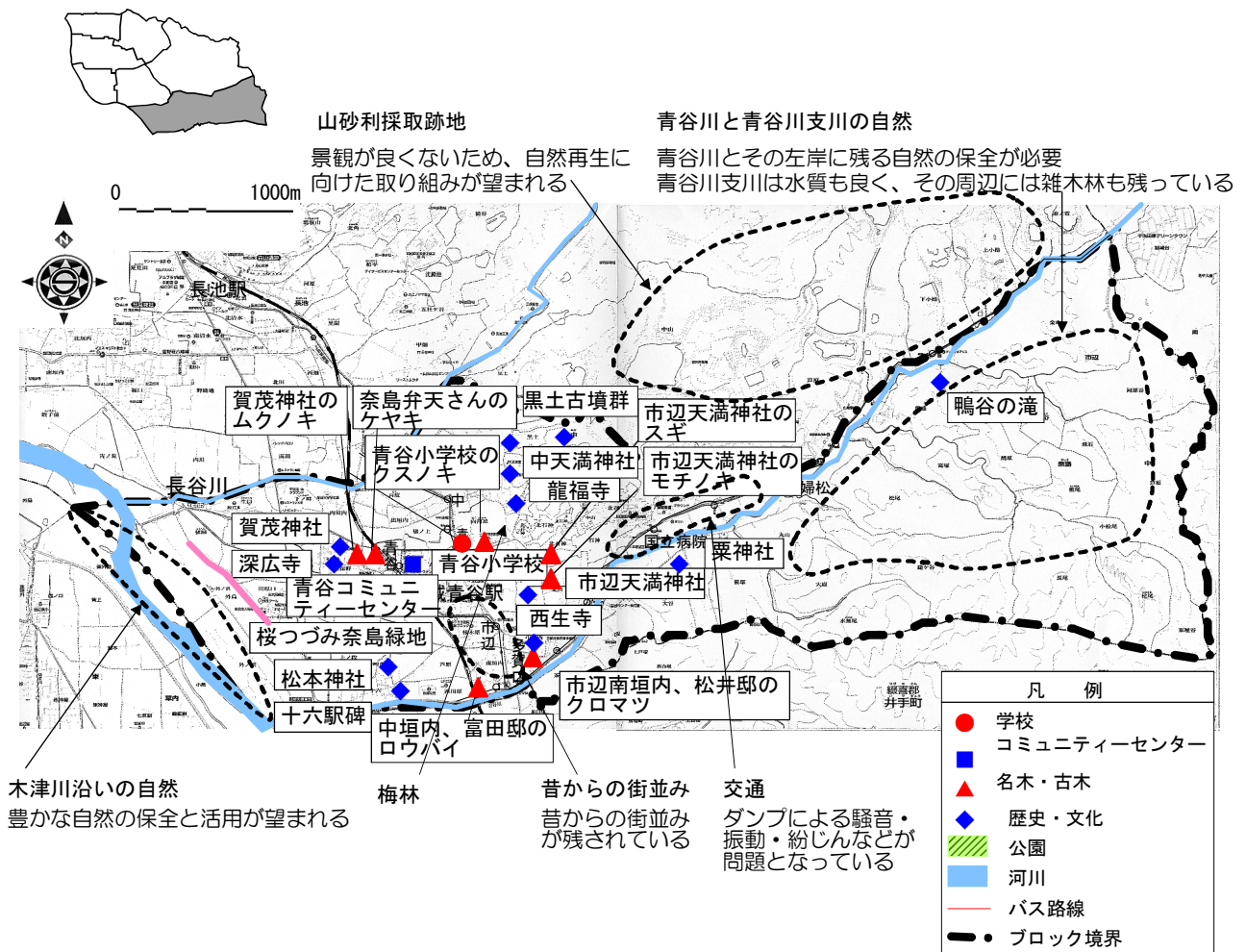
長谷川が北部を、青谷川が南部を東西に流れ、さらに南西部には木津川が流れています。青谷川左岸には手付かずの自然が残されているほか、木津川周辺や地域全体が他の地区と比較して昔からの自然が多く残されていることが特徴的で、これらの保全と活用が望まれています。

また、府下一の規模と古い歴史を誇る青谷梅林が住宅地の東側に位置しており、特色ある景観を形成しています。

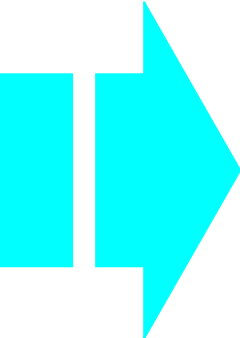
その一方で山砂利採取跡地の景観はあまり好ましくない状況であり、自然の再生に向けた取り組みが望まれます。国道沿いではダンプの交通量が多く、騒音・振動・粉じんなどが問題となっています。

この地域では、都市計画マスタープランに基づく土地利用の見直しが進められていることか

地域環境マップ



よりよい環境づくりのための配慮指針

- 
- ・ 身近な河川の水質改善に努めます。
 - ・ 人と自然に配慮した安全で快適な水辺空間の創出に努めます。
 - ・ JR山城青谷駅周辺の都市機能と住環境の整備に努めます。
 - ・ 青谷川左岸の豊かな自然環境の保全に努めます。
 - ・ ホタルが生息している水路の保全に努めます。
 - ・ 木津川の自然環境を保全し、水辺を憩いの場として利用できるよう努めます。
 - ・ 梅林の保全と活用に努めます。
 - ・ 神社・仏閣の緑の保全に努めます。
 - ・ 山砂利採取跡地の修復・整備に努めます。

7. 東部丘陵地域

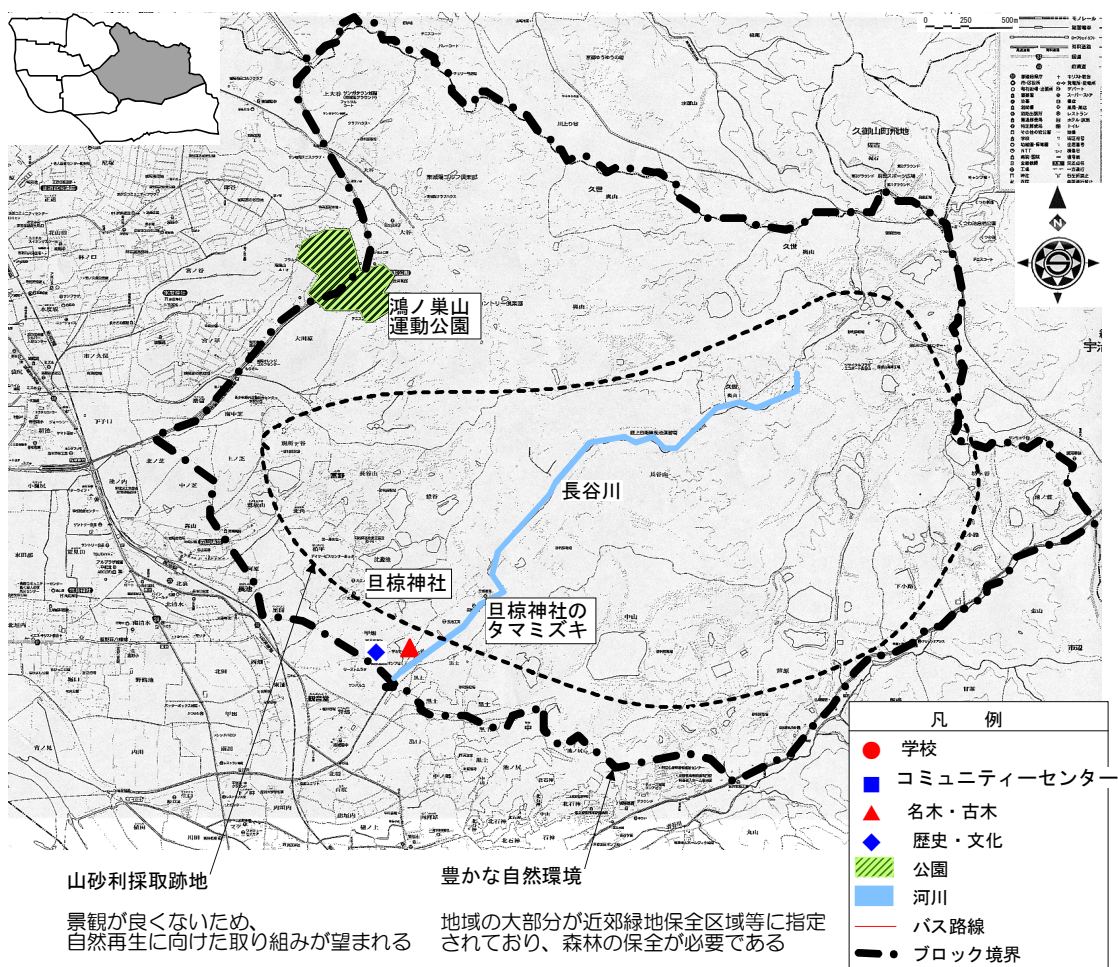
環境の現況と課題

東部丘陵地域は本市の東部に位置しており、森林及びゴルフ場、山砂利採取地が広がっています。地域の大部分は近郊緑地保全区域や保安林区域、地域森林計画対象民有林で占められており、多様な動植物が生息・生育しています。これら豊富な自然環境の維持・保全が必要となっています。

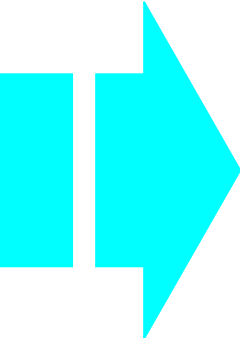
山砂利採取跡地については「東部丘陵地利用計画」において整備の基本方向が定められており、砂利採取によって荒廃した景観や自然環境の修復整備が進められていますが、東部丘陵地全体が調和した、豊かな自然環境の再生・保全が必要となっています。

また、地域を東西に横断するかたちで新名神自動車道が計画されていることから、同自動車道の建設工事や、それに伴う開発に際しては、環境に十分配慮することが大切です。

地域環境マップ



よりよい環境づくりのための配慮指針

- 
- ・ 東部丘陵地全体が調和した、豊かな自然環境の再生・保全に努めます。
 - ・ 山砂利採取跡地の修復・整備に努めます。
 - ・ 山砂利採取跡地の利用に際しては、環境優先のまちづくりに努めます。